

令和 3 年度事業実施状況

【研修部関係】

I 国際協力研修事業

1 8	日本語・日本文化研修事業（日本語高等研修等）	34
1 9	日本語・日本文化研修事業（国際人材育成事業）	36
2 0	国際協力機構（JICA）受託研修事業	39

II 地域の国際化推進事業

2 1	地域の国際化推進事業（地域交流イベント）	41
2 2	国際協力情報の収集・提供事業（ひろしま国際プラザ情報センター・図書室等運営事業）	56
2 3	NGOの人材育成・情報提供事業	58

III ひろしま国際プラザ施設管理運営事業

2 4	ひろしま国際プラザ施設管理運営事業	59
-----	-------------------	----

(研修部：I 国際協力研修事業)

1 8 日本語・日本文化研修事業（日本語高等研修等）

1 目的

海外からの研修員等に対し、業務や研究及び日常生活に必要な日本語能力の向上や日本文化の理解の促進を図るとともに、国際協力・国際化の進展に寄与する（広島県からの受託事業）。

2 事業概要（平成9年度(1997年度)開始）

日本語・日本文化研修：海外からの研修員等を対象に日本語及び日本文化の研修を実施

3 令和3年度実績

研 修 名 等		人数	実施期間	内 容
日本語 高等研修	2週間 集中プログラム	8人	8/16～8/20 9/ 6～9/10	外国人留学生が大学院で研究活動を行うために必要な論文作成・発表、討論等の高度な日本語能力を習得するための研修
	半年プログラム	7人	10/4～3/4	（新型コロナウイルス感染拡大状況を勘案し、例年2回実施の2週間集中プログラムを1回に変更）
海外日本語 教師養成 研修	東南アジア	インドネシア：3人 ベトナム：3人	2/22～3/23	アジア・太平洋地域等の日本語教師を対象に、日本語教師に必要な日本語教授法の習得及び日本語運用能力の向上のための研修 （新型コロナウイルス感染拡大により来日研修を断念し、4週間の遠隔研修として実施）



日本語高等研修 2週間集中プログラム



海外日本語教師養成研修

研 修 名 等	人数	実施期間	内 容
J E Tプログラム 日本語・日本文化研修	6 1 人	8/18～3/31 (オンライン教材提供 期間)	J E Tプログラムにより広島県及び 県内市町に派遣される海外の青年に 対する日本語・日本文化事情研修 (新型コロナウイルス感染拡大によ る影響等を鑑み、オンライン教材の 作成及び提供により研修を実施し た。)
海外大学 日本語・日本文化体験プログラム	—	—	アジア・太平洋地域等の高等教育機 関の学生で、日本語・日本学を専攻 している者、あるいは日本理解・広 島理解を希望する者を対象にした日 本語・日本文化研修 (新型コロナウイルス感染拡大によ る入国制限の継続等により実績な し)
在外県人会後継者育成支援等事業	在外県人会: 2 0 人 グアタマ州: 1 5 人	在外県人会 8/22, 8/23 グアタマ州 8/22, 8/29	ハワイ・北米・中南米の在外広島県 人会及び広島県の友好提携先のメキ シコ・グアタマ州から青少年を 広島に招き、広島への理解を深めて もらう交流プログラム (新型コロナウイルス感染拡大によ る入国制限の継続等により、オンラ インで実施した。)

19 日本語・日本文化研修事業（国際人材育成事業）

1 目的

海外からの学生等に対し、日本語・日本文化研修や生活支援等を実施し、日本への理解の促進を図るとともに、国際交流の進展や国際的な人材の育成に寄与する。

2 事業概要（(1)～(3)平成18(2006)年度開始、(4)平成26(2014)年度開始）

(2)については、新型コロナウイルス感染拡大による入国制限等により令和3年度は実績なし

(1) 青少年等日本文化体験研修

海外から教育旅行で広島県を訪問する青少年に対し、日本語の授業、日本文化体験、日本の歴史・産業の見学、及び地域住民・学生との交流の機会（ホームステイ・ビジットも実施）を提供する。

【5泊6日の場合の代表的な日程例】

日	曜日	時間	内容
1日目	木	午後	福岡・大阪・東京等から到着 HIP チェックイン、開講式、日本語授業
		夕方	日本文化体験（浴衣の着付けなど）
2日目	金	午前	広島市内見学
		午後	（平和記念公園、マツダミュージアム、お好み焼き体験など）
		夕方	ホームステイ
3日目	土	終日	ホームステイ
4日目	日	午前	ホストファミリーとお別れ
		午前・午後	宮島（厳島神社）、もみじ饅頭づくり体験など
5日目	月	午前・午後	学校訪問 （生徒との交流、授業・クラブ活動参加など）
		夕方	日本文化体験（茶道など）
6日目	火	午前	閉講式 次の訪問地に向けて出発

【研修部で実施可能な日本文化体験の例】

茶道、生け花、折り紙、浴衣の着付け、絵手紙、書道、和食（巻き寿司など）、お好み焼き、和菓子、折り鶴アート、殺陣、竹とんぼ製作、日本の遊び（竹馬・けん玉等）

(2) 海外自治体・大学等国際化研修

海外の自治体職員や教育機関・大学の教職員・学生などに対する研修プログラム。ノンネイティブ日本語教師のための研修（日本語・日本文化・授業改善など）や、海外で日本語や日本文化を学んでいる人のための実践的な日本語研修などを行う。

(3) 企業等国際化研修

日系企業や日本と取引のある企業等が受け入れる外国人研修員に対し、HIPに宿泊しながら日本語や日本文化の学習の場を提供する研修プログラム

昼間に会社・工場などで技術研修を受け、HIPに帰ってから日本語クラスや日本文化体験を行うことも可能。また、企業からの要望に応じて、日本の生活を開始するためのオリエンテーション、健康診断、役場への届け出、銀行口座開設などの支援、日本語集中講義なども行う。

(4) グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)

ひろしま国際プラザに入居して、所属の大学に通いながら、国際社会で活躍できる「実践力」を身につけることができる外国人留学生のためのプログラムを実施する。

レジデントアシスタント (RA) の日本人学生を配置し、プログラムに参加する留学生を支援している。

区 分	グローバルリレーションズ・プログラム (GRP)
ねらい	ひろしま国際プラザに入居して、次の能力を養う。 ア 日本語及び日本文化・事情理解 イ 次世代のリーダー・グローバル人材として必要な能力 ウ 多文化共生・協働・平和を希求する精神
プログラム 内容等	ア 地域交流等 ・ ひろしま国際センター等が行う各種の地域交流イベントや研修事業へ参加し、イベントの中で自国の文化等を紹介したり、イベントや研修事業の運営を支援する。 ・ 実施時期：随時 イ 留学生間の交流 RAの主宰のもと、定例的なミーティングを開催し、入居留学生の相互交流とともに、ひろしま国際センターの国際交流イベントへの協力や生活のことなどについて、情報交換を行う。 ウ 日本語の学習支援 ひろしま国際センターの日本語講師陣に日本語能力試験の勉強法などが相談できる。
参加期間	1年間（原則最大2年間）
累計参加者	延べ24ヶ国106人（令和4年3月末現在） （内訳） 中国37人、ベトナム11人、フィリピン9人、バングラデシュ7人、タイ5人、韓国4人、イラン4人、パキスタン4人、インド3人、カンボジア3人、インドネシア3人、エジプト2人、メキシコ2人、アフガニスタン2人、アンゴラ・イエメン・ウズベキスタン・スリランカ・シリア・ナイジェリア・ネパール・フランス・アメリカ・チリは各1人



北海道清里高校修学旅行受入事業



ワールドクッキング ONLINE



英語村



英語村

3 令和3年度実績

区分	研修名等	人数 (在留・外勤)	実施期間	備考
日本文化体験研修 青少年等	グローバル未来塾inひろしま	20人	7/25～2/6 (11日間)	将来、国際平和を希求し世界的に活躍できる人材となることを目指す高校生等を対象に、広島県が実施する、英語力、核軍縮や紛争解決などの国際的課題を学ぶプログラム
	北海道清里高校修学旅行受入事業	29人 (6人)	11/8～11/9 (1泊2日)	北海道清里高校の修学旅行を受入れ、同校の高校生と県内の外国人留学生が交流や平和学習を行う事業
海外自治体・大学等 国際化研修	新型コロナウイルス感染拡大により受入実績なし			
企業等国際化研修	留学生のための「自分」再発見プログラム	20人	11/27～11/28	広島県内の大学や大学院に在籍する留学生に対し、日本国内で就職活動を行う前段階として、「自分を知る」きっかけを提供し、今後の留学生活や実際の就職活動を充実させるための日本語研修プログラム
G R P	グローバル能力開発コース (長期)	新規8人 (定員19人)		(全体の内訳) 中国9人、パキスタン3人、インドネシア・イエメン・韓国・カンボジア・アメリカ・チリ・イランは各1人
	レジデント・アシスタント (RA)	新規2人 (定員2人)		日本人学生
	合 計	10人		

20 国際協力機構(JICA)受託研修事業

1 目的

独立行政法人国際協力機構(JICA)中国センターが受け入れた、開発途上国の国づくりの中心となる技術者・行政官等への研修をHICが受託実施し、様々な分野の専門知識・技術等の移転を支援する。

2 事業概要

JICAから集団型研修コース等を受託し、広島県や県内の大学等と協力して実施する。

3 令和3年度実績

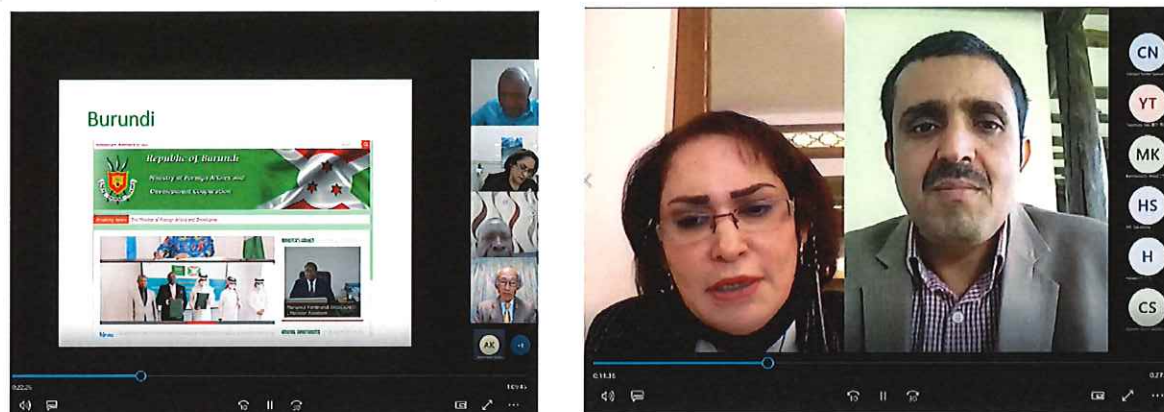
(1) 課題別研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
エネルギーの高効率利用と省エネの推進 (B)	7人	6/7～7/21	【内容等】 ・省エネルギー政策の意義や政策立案の基礎などを学ぶとともに、日本がこれまでに培った省エネルギー関連の知識や技術、経験の習得を通じて、対象国において省エネルギー政策立案ができる人材を育成することを目的とする。 ・日本における省エネルギー行政の体系と取組を理解するための講義や政策立案の演習などを実施する。 ・遠隔（講義動画配信、同時双方向の組合せ）により実施 【協力機関】広島大学、(一財)省エネルギーセンター 等 【参加国】ブラジル、コートジボワール、ナイジェリア、セントビンセント・グレナディーン
排水処理技術	10人	9/7～11/4	【内容等】 ・日本で実際に機能している排水処理システムの実例及びその整備プロセスを体系的に学ぶと共に、参加国間で課題や経験を共有、議論する中で、参加者が各国の排水処理状況を改善するための糸口をつかむことを目的とする。 ・「水環境保全の意義」「下水道計画・経営」「処理場の維持管理」「下水処理技術」等といったテーマについて、講義を通して自国に合った必要な知識・技術を学ぶ。 ・また、途上国に向けた技術の一つとして、UASB+DHSを紹介し、自力で実行可能な改善取組みへの意欲を向上させる。 【協力機関】東広島市、広島大学、長岡科学技術大学、県内の除害装置を持つ企業 等 【参加国】アルゼンチン、ボリビア、コロンビア、コスタリカ、エクアドル、ホンジュラス、メキシコ、ニカラグア、パナマ、ペルー
紛争影響国における地域社会再建にかかる地方行政能力強化	7人	10/12～11/4	【内容等】 ・紛争影響国において地域再建プロセスを担う地方行政官及び中央政府職員の政策・計画の立案・実施能力の向上を目的とする。 ・紛争影響国における地域社会の再建を通じた平和構築の取組みと、その中での地方行政・コミュニティの果たすべき役割を理解する。 ・遠隔（同時双方向型）により実施 【協力機関】広島県、東広島市、いわき市、宮城県議会、いわきおてんとSUN企業組合 等 【参加国】ブルキナファソ、ブルンジ、カメルーン、コートジボワール
紛争影響国における国家建設	6人	11/29～12/10	【内容等】 ・日本の統治機構や行政府・立法府・司法府の関係、国家安定に資する治安関連諸機関の機能を理解する。 ・日本の事例を通じて安定した国家建設を適切に計画・履行するためのガバナンスのあり方を学ぶとともに、目指すべき国家像や治安分野を含む諸機関の中での行政官の役割を見直し、幹部行政官の政策形成能力を向上させる。 ・遠隔（同時双方向型）により実施 【協力機関】日本政治総合研究所、警察庁、広島県、東広島市 等 【参加国】ソマリア、南スーダン、イラク、イエメン、パレスチナ、ブルンジ

研修名	人数	実施期間※	研修概要
道路維持管理（D）	14人	11/8～12/17	【内容等】 ・参加国の経済発展に伴う急増する自動車交通需要に対応する道路整備について、日本の技術・知識・経験を活かし、効率的な維持管理計画の策定スキルを向上させることを目的とする。 ・PDCAサイクルを使って、予防的・効率的な道路整備や維持管理の方法を学ぶ。 ・遠隔（講義動画配信，同時双方向の組合せ）により実施 【協力機関】 広島大学，中国地方整備局，高速道路関係企業等 【参加国】 エジプト，エチオピア，ガーナ，モロッコ，リベリア，マラウイ，モザンビーク，ソマリア，ウガンダ，ジンバブエ
計 5 コース	44人		

※実施期間は技術研修期間である。

「紛争影響国における国家建設」



- (2) 国別研修
実績なし
- (3) 青年研修
実績なし
- (4) 日系研修

研修名	人数	実施期間※	研修概要
観光果樹園経営及び果樹栽培技術（短期）	1人	12/20	【内容等】 ・果樹栽培だけでなく，加工・販売や体験学習など観光果樹園としても成功している平田観光農園の取組，ノウハウを学び，自国での導入可能な栽培技術，加工・販売や経営方法などの知見を習得することを目的とする。 【実施機関】 有限会社平田観光農園 【参加国】 ボリビア
計 1 コース	1人		

※実施期間は技術研修期間である。

（参考）過去のJICA研修受託実施状況

（単位：コース，人）

区分/年度	H9～H28	H29	H30	R1	R2	R3	累計
コース数	230	14	14	11	4	6	279
研修員数	2,009	131	117	86	36	45	2,424

2 1 地域の国際化推進事業（地域交流イベント）

1 目的

県民が直接外国人と交流する機会を提供し、地域の国際化を推進する。

2 事業概要

多くの地域住民（在住外国人を含む。）が国際相互理解を深める機会として、「ひろしま国際プラザ（HIP）」に在館する研修員の協力も得ながら、様々な地域交流イベントを実施する。

また、国際交流・協力事業の地域ボランティアを養成するため、イベントでの通訳やホストファミリーなどの「HIC オレンジサポーター」登録制度を設け、積極的な参画を促進する。

3 令和3年度の実績

1 地域における国際交流推進事業

【目的】

日本人住民に対する意識啓発、外国人住民に対する日本での生活上必要な種々の情報提供及び地域に暮らす外国人・日本人住民の交流機会の提供を行うことにより、地域における国際交流及び外国人住民が心豊かに暮らせるまちづくりの推進を支援する。

1 子ども英語村（Kids' English Academia）

(1) 概要 東広島市内や近郊に住む ALT（Assistant Language Teacher：外国語指導助手）やひろしま国際プラザで研修を受講中の外国人留学生の協力により、外国人と日本人が英語を媒体として交流する。遊びながら英語を学び、また異文化理解と多文化共生社会の推進を支援することを目的とする。

(2) 対象者 東広島市在住の語学、異文化理解に関心のある小学生

(3) 実施回数・参加者数 2回 95名

(4) 実施状況

(1回目)

日時	令和3年10月17日（日） 8：45～12：00 ※ 8月28日（土）に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、10月17日（日）に延期して実施
場所	憩いの森公園
参加者	参加者 41名 ボランティア 16名（ALT6名、HIC研修生4名、ボランティア6名）
内容	憩いの森公園の一角を使って、コース上に仕掛けられた英語によるミッションを、参加者が6グループに分かれ、ALTとともにミッションをクリアしてゴールを目指す。 ミッションは、コース上に隠されたアルファベットを探して単語を当てる「アルファベット探し」、いろいろなものを詰め込んだペットボトルの「重さ比べ」、英語による「謎解き」、英語の「早口言葉」、「容器の中のパスタの数当て」、ひもの「長さ当て」、丘から見える「小学校の数当て」、「水鉄砲」による的当て、「大縄跳び」の9つ。

(2回目)

日時	令和4年3月12日（土） 9：45～12：15
場所	ひろしま国際プラザ ロビー（1階、2階）、体育館、大会議室
参加者	参加者 54名 ボランティア 16名（ALT14名、HIC研修生1名、ボランティア1名）

内 容	小学校に見立てたひろしま国際プラザ（HIP）で、参加者が4グループに分かれ、教師役のALTから5科目の授業を受けて外国（英語圏）の小学校を疑似体験。 「Voice acting（声優）」の授業では映画の名場面のセリフを英語で再現、「Arts & Crafts（図工）」の授業では応援グッズづくりと英語による声援の紹介、「Dance（ダンス）」の授業では英語を使ったダンス、「Engineering（エンジニアリング）」の授業では不思議な模型づくり、「P.E.（体育）」の授業では段ボールキャタピラの対抗戦を行う。
-----	--



10月17日 英語村（謎解き）



10月17日 英語村（答え発表・表彰式）



3月12日 英語村（Arts&Crafts）



3月12日 英語村（Engineering）

2 「やさしい日本語」の普及

- (1) 概 要 日本語が苦手な外国人住民にとっても理解が容易な「やさしい日本語」の普及を図るため、出前講座等を活用しながら、考え方や実践的なノウハウを習得するためのセミナー等を開催することで、業務及び日常生活等における外国人対応の一助とし、受入側の体制整備を支援する。
- ▽ 「やさしい日本語」の概略、ロールプレイによる実践練習

- (2) 対 象 者 東広島市に在住・勤務し、外国人への情報発信やコミュニケーションを行う自治体・企業職員（教育・福祉・保健分野など）、住民自治コミュニティ、地域メディア担当者、学生等

- (3) 実施回数・参加者数 2回、対面24名、オンライン15施設

- (4) 実施状況

(1回目)

日 時	令和3年11月6日（土） 9:00～10:30
場 所	広島国際大学東広島キャンパス
対 象	広島国際大学学生、東広島市民
参加者	24名
内 容	「やさしい日本語」講座

(2回目)

日 時	令和4年2月8日(火) 15:00~16:30
場 所	オンライン講座 ※ 新型コロナウイルス感染状況を勘案し、オンラインで開催
対 象	東広島市内の保育所・幼稚園等の職員(保育士等)
参加者	15施設
内 容	「やさしい日本語」講座



11月6日の
「やさしい日本語」講座

3 外国人のための東広島バスツアー

- (1) 概 要 地域に対する理解を促進し、生活上必要となる情報を提供するために、在住外国人のためのバスツアーを開催し、外国人住民の生活の利便性・快適性向上を図るとともに、地域に対する愛着を増す機会とする。また、参加者同士のコミュニケーションを促し、住民同士のネットワーク形成の一助とする。
- ▽ 市内の主要観光スポットや生活に役立つ公的機関への訪問
 - ▽ バス内でのレクリエーション等を通じた参加者間の交流

(2) 対 象 者 東広島市に在住する外国人住民等

(3) 実施回数・参加者数 3回70名

(4) 実施状況

(1回目)

日 時	令和3年7月25日(日) 8:30~11:40
参加者	17名
内 容	・移動中のバスの中で 東広島に関するクイズを実施 ・福富町の原田農園でとうもろこし狩り体験

(2回目)

日 時	令和3年10月24日(日) 8:15~15:45
参加者	19名(外国人技能実習生)
内 容	・移動中のバスの中で 東広島に関するクイズを実施 ・豊栄町の小石川リンゴ園でリンゴ狩り体験 ・道の駅「湖畔の里 福富」で昼食 ・三原市本郷町の三景園を見学

(3回目)

日 時	令和4年3月29日(火) 9:15~17:00
参加者	34名
内 容	・移動中のバスの中で 東広島に関するクイズを実施 ・ひろしま国際プラザで着付け体験及び浴衣姿で東広島市西条町の御建神社を散策(広島中央エコパークの見学を予定していたが内容を変更) ・黒瀬町の龍王山総合公園で昼食 ・呉市蒲刈町の県民の浜で藻塩作り体験



7月25日 福富町でとうもろこし狩り体験



10月24日 豊栄町でリンゴ狩り体験



3月29日 浴衣姿で御建神社を散策



3月29日 呉市蒲刈町で藻塩づくり体験

4 外国人のための防災フェスタ

(1) 概要 外国人住民等を対象に、地震、風水害、火災などの防災をテーマにした体験型イベントを開催又は東広島市総合防災訓練等に参加し、外国人住民の防災意識を高めるとともに、地域の安全・安心の向上を図る。

(2) 対象者 東広島市に在住する外国人住民等

(3) 実施状況

日時	令和3年11月13日(土) 9:35~16:10 ※8月21日(土)に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、11月13日(土)に延期して実施
場所	ひろしま国際プラザ
参加者	13名
内容	・福富町の「きこりや」で防災グッズづくり ・道の駅「湖畔の里 福富」で昼食 ・ひろしま国際プラザで防災士による防災ワークショップ(ハザードマップの見方、新聞紙スリッパづくり、防災グッズの紹介)



防災ワークショップ



ペットボトルランタン

5 地域交流希望事業

- (1) 概要 ひろしま国際プラザに滞在する研修員との交流を希望する人を広く一般より募集し、地域住民が主体となった国際交流活動を促進する。
▽ スポーツを通じた交流イベント など
- (2) 対象者 東広島市在住の国際交流を希望する地域住民、ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 場所 ひろしま国際プラザ
- (4) 実施回数・参加者
スポーツ交流 27回 279名

毎年、伝統芸能発表会、ミニコンサート、ロビー展示を実施しているが、当該メニューは新型コロナウイルス感染拡大のため中止

6 外国人のための子育て交流会

- (1) 概要 未就学児を持つ外国人・日本人住民の交流会を開催することで、孤立しがちな外国人保護者の子育ての悩みを解消し、外国人・日本人の垣根を越えた子育てネットワークづくりを支援する。
- (2) 対象者 主に東広島市在住の未就学児を持つ外国人・日本人及びその子ども
- (3) 実施回数・参加者数 2回 33名
- (4) 実施状況

(1回目)

日時	令和3年10月31日(日) 10:00~11:30 ※9月5日(日)に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、10月31日(日)に延期して実施
場所	東広島芸術文化ホールくらら
人数	25名(外国人14名、日本人11名)
内容	・自己紹介 ・リトミック ・各国の子育て事情の紹介(フリートーク)

(2回目)

日時	令和4年2月19日(土) 10:00~11:15
場所	オンライン開催 ※新型コロナウイルス感染状況を勘案し、オンラインで開催
人数	8名(外国人2名、日本人6名)
内容	・自己紹介 ・子育てあるある ・海外のベビーフード・おやつを紹介 ・交流タイム(外国人が日本で子育てする際に困ったことなどを2グループに分かれてフリートーク)



10月31日 子育て交流会



2月19日オンラインで交流会

7 地域国際交流事業

- (1) 概要 地域に暮らす外国人・日本人住民との交流の場を作り，ともに活動することで相互理解を促進し，外国人住民の地域への溶け込み，地域内での異文化理解，コミュニティ形成を促進する。（当センターは，生涯学習センター等が行う事業について英語通訳を実施）
- (2) 対象者 東広島市内に地域に在住する外国人・日本人住民
- (3) 実施回数・参加者数 2回 36名
- (4) 実施状況

(1回目)

日時	令和3年11月20日（土） 9:45～12:00
場所	三ツ城コミュニティハウス
対象	三ツ城地域住民
参加者	24名（外国人5名，日本人19名）
内容	古墳から学ぶSDGs

(2回目)

日時	令和4年3月13日（日） 14:00～15:30
場所	安芸津生涯学習センター
対象	安芸津地域住民
参加者	12名（外国人4名，日本人8名）
内容	外国人市民のための防災教室

上記のほか5か所での実施を計画していたが，新型コロナウイルス感染拡大のため中止又は英語通訳が不要になったことによりスタッフの派遣を中止

8 防災アドバイザー事業

- (1) 概要 地域に暮らす外国人住民への災害時支援や外国人住民の防災意識を高めるため事業等に対してアドバイザーを派遣し，業務及び日常生活等における外国人対応の一助とし，受入側の体制整備を支援する。
- (2) 対象者 東広島市に在住する外国人住民を支援する機関・団体等
- (3) 実施状況

日時	令和3年12月3日（金） 14:00～16:00
場所	寺西地域センター
対象	寺西地域住民
参加者	19名
内容	「やさしい日本語」講座（災害時における外国人への情報の伝え方）

上記のほか，もう1か所での実施を計画していたが，新型コロナウイルス感染拡大のため中止



寺西地域センターで講座を開催

9 友好都市マリリア市 PR 事業

- (1) 概 要 東広島市の国際友好都市の一つであるブラジルサンパウロ州マリリア市との友好交流の PR 事業を実施する。
- (2) 対 象 者 東広島市に在住する市民（ブラジル出身者を含む。）等
- (3) 実施回数・参加者数 2 回 74 名
- (4) 実施状況

(1 回目)

日 時	令和 3 年 12 月 4 日（土） 11:00～15:00 東広島国際フェスタ 2021 に出展
場 所	東広島芸術文化ホールくらら
人 数	写真・パネル展示のアンケート参加者 50 名
内 容	・写真・パネル展示 ・マリリア市民が描いた「マリリア市を描こう！コンテスト」の絵を展示

(2 回目)

日 時	令和 4 年 2 月 21 日（月）～2 月 28 日（月）
場 所	東広島市役所 1 階ロビー
人 数	写真・パネル展示のアンケート参加者 24 名
内 容	・写真・パネル展示 ・マリリア市民が描いた「マリリア市を描こう！コンテスト」の絵を展示

毎年、関連図書・CD 展示、ブラジル料理の提供、東広島市国際交流フットサルリーグ・マツダ会杯を実施しているが、当該メニューは新型コロナウイルス感染拡大のため中止



12 月 4 日 国際フェスタ 2021 でパネル展示
「マリリア市を描こう！コンテスト」の絵



2 月 21 日～2 月 28 日
東広島市役所ロビーでパネル展示

2 国際相互理解促進事業

【目的】

日本文化・外国文化の相互理解を促進することで、グローバルな視野を持ち、文化の多様性を受容できる国際人材の養成に寄与する。

1 ワールドクッキング教室

- (1) 概要 海外の料理をテーマとした料理講習会を開催する。講師は地域に暮らす外国人住民に依頼し、外国人住民の社会参画への機会とする。
- ▽ 講師の母国の料理紹介および調理を通じた交流
 - ▽ 講師の母国文化、社会事情の紹介

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

※「ワールドクッキング オンライン」(GRP が各国料理のレシピを紹介)を HIC ホームページに動画配信 (1回)



フィリピン:ティノラン・マノック編

2 広島平和学習

- (1) 概要 平和記念公園, 平和記念資料館, 原爆ドームなどへの訪問や講義を通じて、広島復興の歴史や平和の尊さについて学ぶための研修を実施する。
- (2) 対象者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 実施回数 1回
- (4) 参加者数 5名
- (5) 行程 平和記念資料館見学
「平和都市ヒロシマの歩み」(講義)
平和記念公園見学(原爆ドーム, 慰霊碑, 原爆の子の像, 爆心地など)



講義「平和都市ヒロシマの歩み」

3 宮島ツアー

- (1) 概 要 広島を代表する文化遺産である宮島への訪問を通じ、日本の歴史・文化に対する理解を促進し、親日感情の醸成に寄与する。
- (2) 対 象 者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 実施回数 1 回
- (4) 参加者数 18 名



厳島神社

4 東広島周辺理解・体験プログラム

- (1) 概 要 東広島周辺地域を訪問し、日本の文化に接したり体験を通じ、日本の歴史・文化に対する理解を促進し、親日感情の醸成に寄与する。
- (2) 対 象 者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員等
- (3) 場 所 東広島市安芸津町 等
- (4) 実施回数 1 回
- (5) 参加者数 10 名



じゃがいも掘り体験

5 日本文化体験教室

- (1) 概 要 伝統的な日本文化である茶道・華道・着付け・書道等を体験する教室を開催することで、日本文化に対する興味・関心を喚起し、親日感情の醸成に寄与する。
- (2) 対 象 者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

6 ホームステイ・ビジット

- (1) 概 要 日本人住民と生活を共にする体験を通じ、研修員の日本の生活・習慣・文化に対する興味・関心を高めるとともに、受入家庭の国際交流・異文化理解への意欲を高める。
- (2) 対 象 者 ひろしま国際プラザに滞在する研修員

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

7 出前講座

- (1) 概 要 在住外国人と日本人住民との交流。日本人住民からの申し込みに応じて随時開催し、日本人住民の国際交流を促進し異文化理解を高める。
- (2) 対 象 者 東広島市に在住する日本人住民
- (3) 場 所 申込者が提供する場所
- (4) 実施回数 1回（やさしい日本語 ～多文化共生のためのコミュニケーション術～）
- (5) 参加者数 6名

3 地域日本語教育支援事業

【目的】

広島県内各市町の日本語教育を支援する「人材育成・教材・リソース等の開発及び実践研究拠点」として、総括コーディネーターを配置しつつ、地域日本語教育コーディネーター（※）の育成、指導等を実施し、外国人が孤立することなく、県民の一員として地域に溶け込み、安心して生活できる環境を整備する。

※ 地域における日本語教育の推進を担う役割

1 日本語学習支援者養成

(1) 概 要 日本語能力が十分でない外国人住民が生活等に必要な日本語力を身に付け社会の一員として地域へ参加できるよう、地域コミュニティー拠点としての地域日本語教室を形成することを目的とする。

(2) 対 象 者 日本語ボランティア、自治体職員等

(3) 実施状況

広島県が実施する市町委託事業実績（令和3年度）（講師：犬飼日本語常勤講師ほか）

内容	回	実施日	定員等	時間	市町名
日本語教室ボランティア養成講座	第1回	10月9日	各15名	各2時間	呉市
	第2回	10月16日			
	第3回	10月23日			
	第4回	10月30日			
日本語ボランティア養成講座	第1回	10月17日	各40名	各2時間	海田町
	第2回	10月24日			
	第3回	10月31日			
日本語学習支援者養成講座	第1回	1月22日	各20名 (オンライン)	各2時間	廿日市市
	第2回	2月5日			
	第3回	2月12日			
日本語ボランティア講座	—	2月22日	— (オンライン)	1時間30分	安芸高田市

市町等からの要請に基づき研修講師を派遣した実績（令和3年度）（講師：犬飼日本語常勤講師）

内容	回	実施日	定員等	時間	依頼団体
「やさしい日本語」の役割と実践	—	4月20日	60～80名	1時間50分	広島市
日本語ボランティア養成講座	第1回	10月8日	各10名程度	各2時間	三原市
	第2回	10月15日			
	第3回	10月22日			
教室活動の「ふりかえり」	—	10月19日	30名	1時間30分	尾道市
災害時の情報発信（「やさしい日本語」）	—	12月3日	40名	2時間	福山市 (ふくやま国際交流協会)
人権問題研修（「やさしい日本語」）	—	12月24日	200名程度 (オンライン)	1時間30分	福山市 (教育委員会)
「やさしい日本語」	—	2月7日	16名	1時間30分	東広島市
日本語学習支援者養成講座「ふりかえり」研修	—	3月12日	—	2時間	廿日市市
呉市日本語ボランティアステップアップ講座	—	3月19日	15名	2時間	呉市

4 相互理解・交流促進事業＜JICA受託事業＞

【目的】

地域に滞在する JICA 研修員と地域住民との交流の場を作ることにより相互理解を促進し、地域住民の開発途上国・地域及び JICA 事業に対する関心と理解を高めるとともに、JICA 研修員及びその家族の日本理解を深める。

1 地域市民対象イベント JICA エコ・チャレンジ ～めざせ！SDGs アンバサダー～

- (1) 概 要 JICA 事業について理解と関心を深めてもらうとともに、体験を通じた国際理解及び SDGs への関心を高める機会を地域に提供するため、また、参加者及び研修員等による国際交流を促進するため、世界の文化や現状を紹介する体験型イベントを開催する。
- (2) 対 象 者 国際交流に興味をもつ小学生高学年の地域住民
- (3) 場 所 ひろしま国際プラザ
- (4) 実施状況

日 時	令和3年11月23日（火） 10:00～12:00 13:30～15:30
参加者	研修員1名、一般参加者52名、ボランティア等11名
内 容	[全体] ①JICA とは&SDGs クイズ ②NPO 法人 Colorbath のソーラーボイラーの話 [グループ別] ①みつろうラップづくり ②世界の食料事情（コオロギせんべい試食、浮沈式いけすの実験） ③気候変動（パキスタンで新しく建設された気象レーダーと世界の気候変動）



Colorbath のソーラーボイラーの話



みつろうラップ作り



気候変動（ビデオメッセージ）



世界の食料事情（浮沈式いけす）

2 サイエンスパーク施設公開

- (1) 概 要 サイエンスパーク施設公開時に、研修員が母国の地理・社会・文化事情等を紹介する、アクティビティやワークショップを開催する。
 ▽ 研修員の国の情報や、その国で実施された JICA プロジェクトのパネル紹介、研修員との会話から国名を当てるクイズなど

- (2) 対 象 者 開発途上国・開発教育に興味を持つ日本人・外国人住民

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

3 JICA 研修員と話す HIROSHIMA ピーストーク

- (1) 概 要 アフガニスタン、ルワンダ、南アフリカ等、紛争の経験国から来た研修員等が講師を務め、国の概要、過去の出来事と現在の様子、平和や広島に対する思い等について紹介する。それにより、開発途上国・地域における平和や復興支援に関する理解を深める。
 ▽ パワーポイントによるプレゼンテーション、フリートークなど

- (2) 対 象 者 開発途上国・開発教育に興味を持つ日本人・外国人住民

- (3) 実施状況

日 時	令和 3 年 11 月 27 日 (土) 10:30~12:00
場 所	広島市竹屋公民館 (中区宝町)
参加者	研修員 1 名 (南スーダン出身), 一般参加者 18 名
内 容	・研修員の紹介 ・研修員が南スーダンの文化等を紹介 ・ワークショップ (風船取りゲーム) ・研修員が南スーダンの紛争の歴史について説明 ・研修員と参加者による質疑応答・意見交換



南スーダンについて話す研修員



ワークショップ (風船取りゲーム)

4 学校訪問

- (1) 概要 研修員が日本の学校教育現場を訪問することにより、日本の教育の優れた点等について理解を深め、また、児童・生徒と交流することにより、開発途上国や異文化理解に関する児童・生徒の興味・関心を引き出すと同時に、研修員が、日本の学校教育・日本文化について実体験し、より深く理解する機会とする。
 ▽ お互いの文化・社会事情等について相互に紹介する。
 ▽ お互いの伝統的な遊び等を紹介し、実演を通して交流を深める。
- (2) 対象者 開発途上国・開発教育に興味を持つ中国地方の幼稚園・保育園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等
- (3) 実施回数 4回4校
- (4) 参加者数 計 研修員27名、児童・生徒・教員等361名
- (5) 実施状況

第1回	令和3年11月16日(火)	広島県立加計高等学校
第2回	令和3年12月17日(金)	松江市立義務教育学校八束学園(オンライン)
第3回	令和4年2月17日(木)	東広島市立三永小学校(オンライン)
第4回	令和4年3月9日(水)	広島県立呉昭和高等学校



浴衣姿で茶道体験(加計高等学校)



民族衣装を着てお国紹介(三永小学校)

5 地域訪問

- (1) 概要 研修員が地域住民と交流することにより、研修員と地域住民の相互理解・共生につなげる機会とする。
- (2) 対象者 研修員
- (3) 場所 東広島市安芸津町
- (4) 実施回数 1回
- (5) 参加者数 21名



しめ縄づくり



交流タイム

6 地域共生・交流セミナー ～となりのイスラム圏の人たち～（オンライン実施）

- (1) 概 要 研修員を始めとする在住外国人が日本で生活する中で感じている課題や想いを地域住民と共有し、相互により深く理解する機会とする。
- (2) 対 象 者 研修員，地域在住外国人，地域住民
- (3) 場 所 ひろしま国際プラザ（オンライン実施）
- (4) 実施回数 1 回
- (5) 参加者数 研修員等 3 名，一般参加者 31 名



イスラム教について説明



オンライン参加者

2 2 国際協力情報の収集・提供事業

(ひろしま国際プラザ情報センター・図書室等運営事業)

1 目的

海外からの研修員や県民等に国際協力等の情報を提供するとともに、各種の相談に応じる。

2 事業概要（平成9年度(1997年度)開始）

- (1) 情報センター・図書室の運営（平成9年(1997年)4月1日開室）
業務：日本語学習教材や国際協力に関する図書等の配備（蔵書数 14,404 点）
ひろしま国際プラザ滞在の研修員や外国人，県民を対象とした相談
- (2) ホームページによるひろしま国際プラザ情報等の提供
- (3) 平成21年(2009年) 4月から図書室内に日本文化理解のための展示を実施
- (4) 平成22年（2010年）5月から研修員と一般向けにミニ折り紙レッスン開始
- (5) 平成24年（2012年）4月からツイッター，5月からフェイスブック開始
11月から，図書等の一般への貸出開始
- (6) 平成 25 年(2013 年) Wi-Fi 環境の整備，開始
- (7) 平成 27 年(2015 年) 4 月に絵本専用の部屋「絵本の森」をオープン

3 令和3年度実績

情報センター・図書室の運営（開館日数：182日）

休室日：毎週日曜日，12月29日～1月3日（蔵書整理等のため，別途年4日間休室）

※令和3年5月10日～6月20日，8月2日～9月30日，令和4年1月8日～2月21日の間

新型コロナウイルス感染拡大防止のため，一般利用中止

開館時間：平日 10:30～12:30・13:30～19:00，土祝日 10:30～19:00

① 情報センター・図書室来室者数

区 分	一般(人)	宿泊研修員(人)	計(人)	一般比率 (%)	研修員比率 (%)
総 数	1,330	163	1,493	89.1	10.9
1日平均	7.3	0.9	8.2		

② 情報センター・図書室相談・問合せ件数

内 容	一 般 (件)	宿 泊 研 修 員 (件)	計 (件)	一般比率 (%)	研修員 比率(%)
1 センター事業・研修等，施設利用・案内	107	14	121	88.4	11.6
2 国際交流・協力 NGO，ボランティア	2	0	2	100.0	0.0
3 教育・学習・語学・留学等	0	2	2	0.0	100.0
4 異文化理解（ホームステイ・文化交流（折り紙等）・行事・催し）	120	4	124	96.8	3.2
5 生活一般（医療・公共サービス・観光・交通・宿泊・レンタル他）	1	1	2	50.0	50.0
6 その他	1	2	3	33.3	66.7
計	231	23	254	90.9	9.1

③ 蔵書購入 令和3年度実績：図書 239冊，CD 14枚，DVD 11本

④ リサイクルフェアの実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

⑤ 読み聞かせの実施（絵本で楽しむ外国語）

9回（随時実施）

⑥ 利用者数，貸出数

(参考) 過去の実績

(単位：人，件)

区分／年度	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)
利用者総数	8,849	7,317	7,588	2,445	1,493
うち一般利用者数	7,514	6,457	6,861	2,128	1,330
うち宿泊研修員利用者数	1,335	860	727	317	163
相談・問合せ件数	327	206	403	204	254
貸出数 (図書，雑誌，AV合計)	7,341	7,654	8,677	4,969	3,484



(情報センター・図書室)



(情報センター内展示)

(研修部：Ⅱ 地域の国際化推進事業)

23 NGOの人材育成・情報提供事業

1 目的

地域レベルでの国際協力に対する県民理解を深めながら、本県の国際化の貢献に寄与する草の根の国際協力・国際貢献活動を行う人材の育成を図る。

また、NGO交流室を活用し、NGOの活動や情報提供を推進する。

2 事業概要

- (1) 「草の根国際協力活動支援事業」：県内のNGO活動を支援するため、「草の根国際協力基金」を創設（平成10(1998)年度）し、県内NGO団体の活動を助成

平成26年3月にピース・アーチ・ひろしまプロジェクト実行委員会から寄附を受け、支援を拡充

- (2) NGO交流室の運営（平成9(1997)年度開始）：NGO交流室を活用し、県内外のNGO活動や情報収集・提供を推進

3 令和3年度実績

- (1) 草の根国際協力活動支援事業
募集休止中（令和4年度再開予定）

- (2) NGO交流室利用状況

新型コロナウイルス感染拡大予防のため休室中

利用者数	揭示申込数	団体ファイル設置数
0人	376件	53団体 (市町村広報を含む)

(参考) 過去の実績

(単位：円、人)

事業区分／年度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3
資金協力	草の根国際協力基金(収入)	27,271,290	0	0	0	0	0	0	0	14,432,428
	草の根国際協力助成(支出)	0	2,791,719	2,704,884	4,193,832	5,597,229	5,703,475	1,817,400	3,694,183	66,174
情報収集・提供	NGO交流室利用者数	708	248	498	584	583	339	492	0	0

注：R2,3はR1交付決定分の支出

(研修部：Ⅲ ひろしま国際プラザ施設管理運営事業)

2 4 ひろしま国際プラザ施設管理運営事業

1 目的

広島県立広島国際協力センターと独立行政法人国際協力機構(JICA)中国センターの合築施設である「ひろしま国際プラザ(HIP)」を、両者からの委託により一体的に管理し、中四国地方の国際協力事業の拠点施設として効果的に活用されるように総合的に運営を行う。

2 事業概要

- (1) 広島国際協力センターの管理運営 (令和元(2019)年度～令和5(2023)年度 第4期指定管理者)
- (2) JICA中国センターの管理運営

3 令和3年度実績

(1) 研修・講習会実績

(単位：コース、人)

区 分	コース数	人数	備 考
広島県研修	5	1 1 7	日本語高等研修, 海外日本語教師養成研修 JETプログラム日本語・日本文化研修等
JICA研修	3 4	2 5 3	課題別研修, 国別研修, 青年研修, 日系研 修等
HIC独自研修	5	7 9	グローバルレゾナンス・プログラム, 青少年等日本文 化体験研修, 企業等国際化研修
その他	—	—	企業, 大学, 協同組合等が実施する国際化 研修等による施設利用
計	4 4	4 4 9	

※人数はリモート研修の研修員を含む。

(2) 宿泊室利用実績

(単位：人泊、%)

区 分	令和3年度 利用者数(A)	令和3年度 利用率	令和2年度 利用者数(B)	令和2年度 利用率	増減率 (A/B)
広島国際協力センター	7,537	28.3	7,039	26.4	107.1
JICA中国センター	4,210	24.0	3,525	20.1	119.4
計	11,747	26.6	10,564	23.9	111.2



【ひろしま国際プラザ】